



# Pro check

ファクト情報活用サービス

# Pro check



**Trust check**

-トラストチェック

**Safety check**

-セーフティチェック

**Negative check**

-ネガティブチェック

**Risk check**

-リスクチェック

**Conflict check**

-コンフリクトチェック



# Negative check

---

## ネガティブチェック

本当に否定的な要素は存在しないのか？課題や対策の洗出しの為に実施するプロセスチェックです。

### 【対象】

競合他社、内定者、登用検討社員、退職社員、休職社員、業界関係者  
業績低迷取引先等

# きけん因子？

---

定期健診で、健康に自信があった人ほど「要再検査・精密検査」などの結果を伝えられることが稀にあります。

その結果、病が発見されたとしても、この精密検査を行ったことで早期に発見、治癒するケースも現代においては多々あります。重要なのは、異常な数値が出た場合、それが危険因子かどうかを判断することです。

ビジネスシーンにおいても同様に、ネガティブ情報(不安要素)が突然舞い込むことがあります。そんな時、これが危険因子であるかについて真偽を確認することが大切です。適切な対応策をいち早く見つける為にも、調査の精密検査「ネガティブチェック」の活用をご検討ください。



---

## Negative check

---



# 大半が本人に起因。

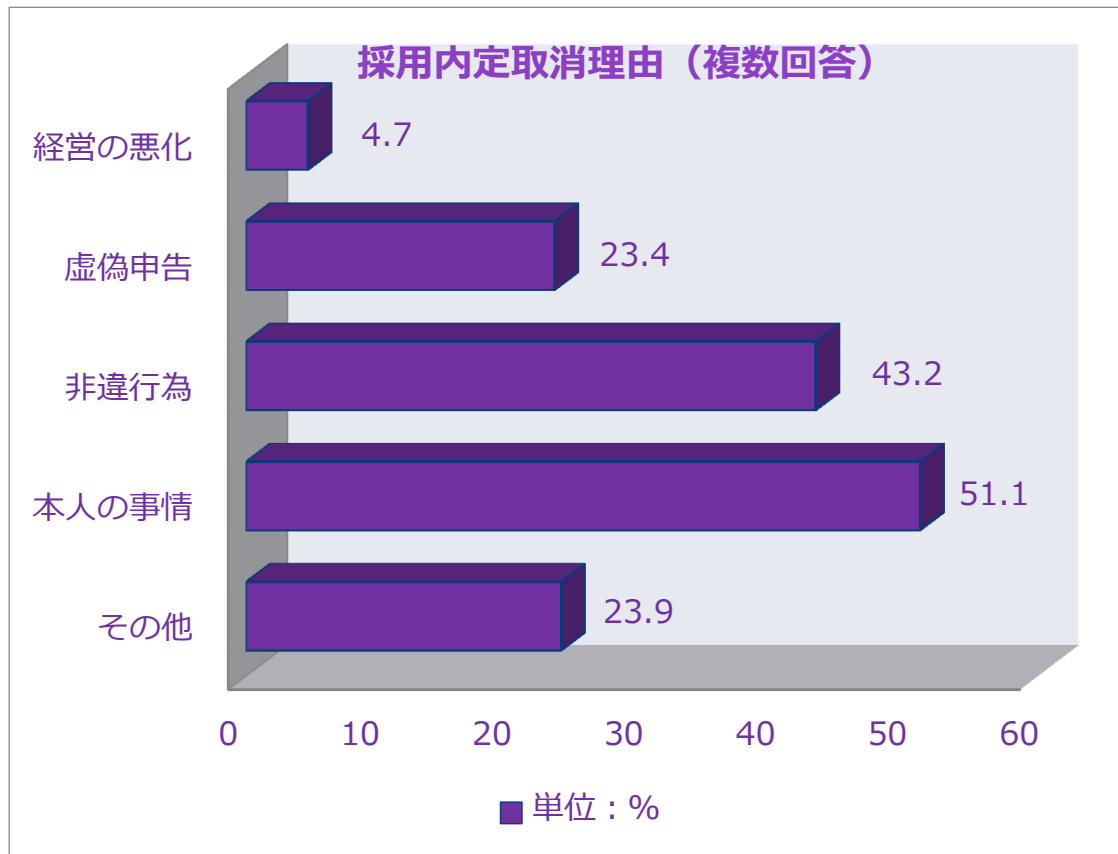
企業の資産は「ヒト・モノ・カネ」の3要素で構成されているとよく言われます。

ヒト資産の価値を高めるには、採用後の育成は勿論のこと、採用時、内定後の水際であっても人材の見極めに時間を割くことが重要とされています。

右の採用内定取消理由にも表れている通り、内定取消の大半が「虚偽申告・非違行為」等を含めた本人に起因する理由です。

「ネガティブチェック」では企業様の採用リスクを軽減するために不安要素の有無を徹底的にお調べいたします。

またお取引先様の不安要素や不安情報をキャッチされた場合も同様のサポートをさせていただきます。



## Negative check

# 指針。

企業が所属社員に行動指針を示すに当たっては「理念VISION」「使命MISSION」「企業価値VALUE」を明確に打ち出すことにより、指針への理解が深まりガバナンスが効くとされています。

そして更なるガバナンス強化を図るためには「指針」に対する遵守体制が重要です。

各企業が定めた指針に説得力が欠ける点が認められると、遵守体制は崩壊し、指針自体が軽視されるようになります。百獣の王と呼ばれるライオンでも獅子身中の虫を放置していれば、やがて体は蝕まれ滅びます。

「ネガティブチェック」を利用して、懸念される情報や事象について直ちにその真偽を確認することにより、適切な対策を講じることができるのです。

こうした環境整備が所属社員の「指針」を守ろうとする姿勢を促し、目指すべき将来へと進んでいけるのです。



**NEGATIVE Check結果報告書**

項目	内容	評価基準	検出項目	対応
1	基本方針	4		
2	経営理念	4		
3	経営方針	4		
4	経営戦略	4		
5	経営計画	4		
6	経営体制	4		
7	経営者	4		
8	経営陣	4		
9	経営幹部	4		
10	経営者	4		
11	経営陣	4		
12	経営幹部	4		
13	経営者	4		
14	経営陣	4		
15	経営幹部	4		
16	経営者	4		
17	経営陣	4		
18	経営幹部	4		
19	経営者	4		
20	経営陣	4		
21	経営幹部	4		
22	経営者	4		
23	経営陣	4		
24	経営幹部	4		
25	経営者	4		
26	経営陣	4		
27	経営幹部	4		
28	経営者	4		
29	経営陣	4		
30	経営幹部	4		
31	経営者	4		
32	経営陣	4		
33	経営幹部	4		
34	経営者	4		
35	経営陣	4		
36	経営幹部	4		
37	経営者	4		
38	経営陣	4		
39	経営幹部	4		
40	経営者	4		

**【結果報告】**  
ひと目でわかる  
チェック表により  
課題の洗出しや  
対策のご検討に  
ご活用いただけ  
ます。

# Negative check

# Case I 納品先。

ファースト社が新作展示会に出展している際に声を掛けられて知り合ったセカンド社に対して定期的に納品するようになって5年目のこと。

前月に納品した商品の代金決済をしばらく待ってほしいとの要望があった。セカンド社の社長はネット販売が好調で他社からも大量仕入れをした為、ネットショップ運営会社側からの支払を受けるまでの短期間について一時的な資金難になっているとのことであった。

この状況を受けて慎重な経営体質のファースト社は直ちにセカンド社の財務状況についての調査を依頼してきた。結果はネットショップの売上は好調であることが認められたが、2年前に大型ショッピングモール内に実店舗を開店しており、その店舗と他数店舗の実店舗すべての経営状態が芳しくなく社全体の経営状態を悪化させ債務超過に陥っていることが判明した。

※ファースト社は調査結果を受けてセカンド社に出荷予定であった商品発送をキャンセル。更に未決済分の商品代金については代表者を連帯保証人とする弁済契約を締結。

※セカンド社はファースト社に完済後破産。セカンド社と取引のあった複数の企業は回収が叶わなかった。



調査期間

4日間

## Negative check



# Case II 優秀社員。

サード社では業務実績を着実に積んでいる社員に対し、役職登用を検討するために不安要素がないか調査を実施している。

今回の対象は江田氏である。新卒で入社して12年目になる江田氏は、何をやらせても呑み込みが早く、着実に功績をあげてきた。

またプライベートでは結婚し子供も生まれ、益々充実した日々を送っているようであった。こうした実力を認められ、3年前からサード社の在タイ支社に責任者として着任。ここでも外国人労働者を束ね生産性の向上に寄与し、期待通りの成果を上げていた。

サポート役の部下にも管理者として自覚と資質が備わってきた頃、江田氏については一定のポストを用意して東京本社に戻すことを検討することになった。

しかし人事部では一抹の不安を抱えていた。それは在タイの同僚からの話で、江田氏は現地の宿舎に戻らないことが度々あり、その間の行動が不明であるということであった。

決して業務に支障を来している訳ではなかったが、次は本社で管理ポストの候補として活躍を期待されている人材である。

少しのスキャンダルも許されない。こうした状況の下、タイで行動監視調査を実施したところ現地の女性と家庭を築き子供までいることが判明した。

※後日江田氏は現地女性に対して養育に必要な金銭を提供し関係を清算した。

## 優秀社員

日本に帰れば  
出世だ…



調査期間

4日間

# Negative check



# Negative checkの概要

商品名	Negative check (ネガティブチェック)
商品の内容	継続的な取引先・登用検討社員等の不安要素に対して課題や対策の洗出しをするために実施する調査
サービス内容	噂・不安要素の真偽確認(基本)、内偵調査(各種情報収集)、取材・聴込み、行動監視、張込撮影、その他内偵、報告書作成
商品サイズ	A4・30~70ページ程度
使用機器	デジタルカメラ・ビデオカメラ・ボイスレコーダー・その他
納期	原則調査終了後、調査実施日数期間以内のご報告
オプションサービス	接触者・交友関係者に対する調査(1時間単位) 指定場所張込(1時間単位) 指定場所撮影(1時間単位) その他お客様のニーズに合わせた対応をします。(別途お見積)

## 【費用の詳細】

基本真偽確認	¥ 80,000-	(消費税別)		
内偵調査/1件	¥ 30,000-	(消費税別)		
取材・聴込み/1件	¥ 30,000-	(消費税別)		
張込撮影/1時間	¥ 15,000-	(消費税別)		
行動監視/1時間	¥ 15,000-	(消費税別)		
その他内偵	別途お見積		報告書作成	無料(1部)

※交通費・燃料費・宿泊費などの経費実費は、別途加算されます。

# Negative check